

# 結果の公表やめよ

文部科学委員会 大平喜信衆院議員が迫る



日本共産党

▲文部科学委員会で学テの弊害を追及する大平喜信議員



動画をご覧ください➡

日本共産党の大平喜信衆院議員（比例中国）は4月14日の文部科学委員会で、序列化や過度な競争を招き、教育を歪めている「全国学力テスト」の弊害を指摘し、「結果の公表はやめるべきだ」と迫りました。

## 点数競争の実態示し認識を問う

大平議員が文科委員会で取り上げた点数競争に駆り立てる各地の実態は…

○青森県 校長会の席順が学力テストの成績順になっている。

○静岡県 知事が下位10校の公表を明言していた。

○広島県 県教委の主要施策実施方針で、全国トップとの差や全国平均を上回ることを指標にしている。

○山口県 県教育振興基本計画で、平均正答率の全国平

**学テは悉皆で毎年実施する必要はない**  
委員会での質問を終えて大平議員は、「全国学力テストの目的が文科省の言う通り、児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策や教育指導の検証、改善に役立てるといっているのであれば、悉皆（しつぱい）で毎年実施する必要はない。毎年60億円の費用は教育条件整備に充てるべきだ」と語っていました。

均以上などを目標にしている。岡山県 県の行動計画の冒頭に教育県岡山の復活を掲

げ、全国10位以内を目標にしている。

○島根県 299の公立小中学校のうち、2〜4月に授業時間に過去問題を使ってテスト対策をした学校が78校にのぼる。松野博一文科相は「過度な競争を招いているという実態にあるとは認識していない」などと開き直りました。

また大平議員は、全国的な

「過度な競争まねいてない」

文科相が開き直る

まともを発表（3月29日）した問題を質問。

文科省担当者が「各教科区分ごとに、児童生徒を正答率の大きい順に25%刻みでAからDまでの4つの階層に分け、それぞれの人数割合を都道府県・指定都市ごとに公表するなどとしている」と答弁したのに対し、大平議員は「さらにランク付けして公表するのはとんでもない。調査結果の公表は直ちにやめるべきだ」と求めました。